

## さとやま

No.38

平成18年4月

発行 NPO法人 うしく里山の会

事務局 〒300-1236 牛久市田宮町808-20

TEL 029-801-2500 (代表 坂 弘毅)

E-mail u\_satoyama@infoseek.jp

HP http://u-satoyama.web.infoseek.co.jp/

## 新年度スタートにあたって

会員の皆様へ

日ごろ、うしく里山の会の運営にご協力いただきましてありがとうございます。

平成17年度はNPO法人取得後の本格的な事業年度となりました。うしく里山の会の各プロジェクトと同時に、牛久自然観察の森の一部管理運営とアヤマ園の再生事業という大きな課題も加わり大変忙しい一年でした。また各プロジェクトの年間事業計画も大過なく終わり、皆様方のご協力に感謝申し上げます。

さて、18年度は当会が牛久自然観察の森の指定管理者に認定され、今4月から市に代わって観察の森の運営を行うことになりました。1990年に開園した観察の森も15年が経過し、昭和30年代の自然環境まで復元されたと言っても過言ではないでしょう。牛久市に現存する里山の代表的景観として多くの人々が訪れるようになりました。この牛久自然観察の森を今度はうしく里山の会が管理することになったわけであり、先輩方の残された管理手法、know-howを踏襲しながらうしく里山の会の味を加えて、更に魅力ある森づくりを目指したいと考えております。会員の皆様には観察の森の運営にも参画いただきながら昨年度同様のご協力ご支援をいただきたくお願い申し上げます。

指定管理者制度で観察の森が変わるのか、という心配も一部ではあるようですが、市の運営から里山の会に代わっただけで、従来通り何ら変わるところはありません。従いまして、里山の会が何でも優先されるという特典もございません。うしく里山の会は森と常に一定の距離を保ちながら更によりよい森づくりを目指したいと思っております。今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

坂 弘毅

## 新インタープリター登場！

牛久自然観察の森に新たな仲間がやってきました☆  
みなさんどうぞ宜しくお願いします！

◎ 久保庭敦男（くぼにわあつお）インタープリター

「こども星見隊」の講師でおなじみ、天体観察普及と大気保全の啓蒙活動をライフワークとするスターレンジャーです☆以前は科学館やプラネタリウムの企画・運営に携わっていました。現在も牛久市生涯学習課の市民博士/市民教授に登録⇒天文教室&気象講座&科学実験講座の開催に携わっています。スターレンジャーの登場でこれまで観察の森で実施された事の無い企画が誕生するかも！？

◎ 若林和浩（わかばやしかずひろ）インタープリター

「さとやまがっきゅう」のリーダーでおなじみ、観察の森初となる牛久生まれの牛久育ち、映像表現を得意分野とするレンジャーです☆ホームページや各種映像メディア、ポスターなどを活用し、より多くの皆様に牛久の里山の素晴らしさを伝えていくためにやって参りました。園路を散策して「ムーミンに登場するスナフキン？」のような風貌のレンジャーに出会ったら、遠慮なく声をかけて下さい！

牛久自然観察の森 指定管理者  
4月1日よりスタート

本会は平成18年4月1日より牛久自然観察の森の施設管理・運営を行います。指定管理者として牛久市と協定を結ぶ期間は平成17年度までの5年間となります。本会は、平成17年度に主権行事、団体対応、清掃、森林管理など牛久自然観察の森にかかわる事業の一部を受託して行いました。新年度はこれらソフト事業に加えて施設管理のハード事業も行います。また、施設運営に関する牛久市との定例会議は四半期ごとに予定しており、相互の連携を深めよりよい牛久自然観察の森を目指して事業を進めて参ります。本会が指定管理者として行う業務の範囲、指定管理者と牛久市の責任分担についてはネイチャーセンターで閲覧出来ますので担当の斉藤までご連絡下さい。

平成18年度牛久自然観察の森職員

園長：石神良三\*

チーフコーディネーター：斉藤孝

コーディネーター：渡辺浩美

インタープリター：上野杏子、久保庭敦男、若林和浩  
菅谷美佐\*、中井聖\*、加藤真子\*

フォレスター：高嶋正敏\*

(\*マークの付いた職員は非常勤職員です)

## 【指定管理者概要】

公の管理に民間の能力を活用しつつ住民サービスの向上を図るとともに、経費の削減などを図ることを目的に、市が指定する者に施設の管理を行わせる制度です。(広報うしくより)

牛久自然観察の森 チーフコーディネーター：斉藤孝

## トップダウンとボトムアップ

—2006年度への期待—

物事を実行する場合、経営者、首長、ボスなどのトップが目標や手段・手順を決めて取りかかるアプローチと誰が・何を・どのようにできるかなどを物事の実行に関わる人たちで決定して行くアプローチがある。前者をトップダウン、後者をボトムアップという。どちらのアプローチが正しい、間違っているということは、単純に決められない。しかし、誰が決めるかを考えるとき、関係者は誰か、とくに当事者は誰かを理解しておくことは、とても大切なことである。ごみの収集体系を計画するとき、ごみ排出の当事者である住民を無視した体系計画はつくれないはずである。

さて、多くのNPOは特定の領域について共通した【想い】を集めることで成り立っている。さらに、多くのNPOではこの【想い】がリーダー（層）を発信源とし、そのためトップダウンで物事が進んでいることが多いように思える。これはこれで、決して間違っていない。

ひるがえって、「里山の会」を考えてみる。「里山の会」は、さまざまな「【想い】」の集まりを束ねて成り立っている。「【想い】」と「【想い】の集まり」とその束から構成される「里山の会」のようなタイプのNPOは、おそらく珍しいと思う。見方を変えると、多くのNPOにはできない【想い】と「【想い】の集まり」を発信源とする、ボトムアップ型の【束】の新しいタイプの活動を展開できる能力を「里山の会」は秘めているといってもよい。

このような活動を展開するためには、さらに進んだ認識の共有化、濃密な情報交換、情報発信・開示、相互理解と協同意識の醸成が求められるであろう。2006年度、「里山の会」は飛躍の時を迎える。解決しなければならない課題を認識し、当事者である【想い】と「【想い】の集まり」が、【束】として相乗効果を生むような「里山の会」に発展することを期待したい。(小林 久)

平成17年第12回運営会議

- 日時：平成18年3月4日（土） 9：30～12：00  
 場所：牛久自然観察の森（講習室）  
 出席者：【理事】坂、雨宮、阿部、小倉、斉藤、丸山、  
 【監事】梨本、白井、  
 【事務局・各P代表】山田、増田、阿部、飯田、高野、小野寺、  
 横山【アドバイザー】石神、渡辺【観察の森】柳下Mg、渡辺Co、
- 【定足数の確認】  
 議席計20名のうち、18名出席。本会議は成立。  
 【全体スケジュールの確認】  
 最終版の月間スケジュール表を議事録と一緒にメール配信、又は、郵送（手渡し）致しますので、内容を御確認下さい。  
 【全体連絡】
1. 総会日程の変更  
 4月21日（土）を5月21日（日）13：30～NCに変更します。  
 運営会議は、5月7日（日）9：00～、総会準備、5月21日（日）9：00～翌月のスケジュール確認とします。尚、4月の運営会議は4月16日（日）9：00～とし、5月のスケジュールの確認となります。
  2. 4月16日（日）の運営会議にて最終確認としますので、17年度報告と18年度計画資料の提出をお願い致します。
  3. 事務局案  
 総会での承認事項は理事会メンバーで、運営会議メンバーは承認事項ではありませんが、スタッフ紹介の意味で総会資料には添付致します。下記は現在までの事務局メンバー案となります。  
 会報 丸山 受託事業担当  
 広報渉外 斉藤 観察の森 斉藤（副：未定）  
 会計 阿部（幸） アヤメ園 坂（副：未定）  
 運営会議 阿部（幸） NPO 渡辺  
 会員管理 若林（職員） 事務局長 雨宮  
 その他として、保険担当、メーリングリスト担当、文書管理担当、総務担当の選任が必要となります。又、助成金担当は担当理事で、会計監査は、監事が当たることになります。プロジェクト毎に理事及び事務局への参加を呼びかけて下さい。  
 「付記」・定款により、理事は5名以上15名以下（NPO法では、3名以上）となっています。  
 ・会計は常にオープンとする体質を心がける様意見有り。  
 次年度からは、四半期毎の監査と、税理士による会計報告を毎月受ける予定です。
- 【プロジェクト報告】  
 略
- 【観察の森運営報告】
1. 月間スケジュール表通り。
  2. 常勤職員として、久保庭さん（星見隊）、若林さん（さとやまがっきゅう）、非常勤として、高嶋（正）が採用されています。
  3. 要望が多かった畑塾を再開します。月2回の木曜日を予定しています。
- 【受託事業運営報告】
1. アヤメ園はスケジュール表通りです。
- 【事務局報告】
1. スケジュール表通りですが、編集は丸山さん宅で行います。早めの原稿提出をお願い致します。
  2. 年度末の会計処理の提出を出来上がり次第提出下さい。  
 4月より菅谷さんが週3回の非常勤勤務となります。
  3. 4月16日の運営会議で5月のスケジュール打ち合わせを行います。  
 4月のスケジュール表は、メール配信（森での手渡し）となります。
  4. アリンコクラブの入金方法を、協賛金→会への入金→制作費の支払いに変更しました。
- 【今月の課題】
1. 会員管理の追跡調査  
 平成17年度の会費未納者は、26名。会報に別紙として支払い依頼を同封。3月10日までの返事を依頼中、返事の無い方で、ワンピー関係者は阿部（幸）さんが、その他は、飯田さんが電話確認する。
  2. 新事業として「巨木リサーチ（仮称）」の提案がありました。  
 詳細は、事業案を配布しましたので参照下さい。  
 牛久市にプレゼンテーションを行い、共同事業となるよう市長宛に書類を提出。（参考までに、後援→共催→共同と市の関与が大きくなり予算は共同事業より付くことになっているとの事）  
 4月の公報で参加者を募集する計画です。運営会議で了承を得られれば、時間の関係上、各理事へはメールで承認を頂く予定です。  
 以上にて、全員一致で新事業の承認を得られました。  
 次年度の計画表を、4月16日の運営会議までに阿部（幸）宛にメールで提出下さい。尚、巨木等の調査器具代は、指定管理者制度の予算内で、購入も可能。（観察の森でも、調査に必要と考えているため）
  3. その他  
 阿部（真）さんが事務局を退きます。

好奇心誘う里山

早春の里山歩きは井ノ岡の谷津田周辺とクリーン、センター近くの林。市内のヤナギは10数種類ほど。今回普通に見られる、タチヤナギ、アカメヤナギ、イヌコリヤナギ、杉山の中ではシダ類のオオイノモトソウ、イノモトソウ、（翼がある）オオベニシダ、マルバベニシダ、ヒメワラビ、トウゴクシダ、等幾つかのシダを観察しました。春を告げるヤマネコノメソウ、フキノトウ、セリ摘み、を楽しみました。渡辺さんの知識の深さは勿論ですが、観察眼、向上心、熱心さは大いに参加者に刺激を与え益々里山にのめり込んでいきます。そう、まだまだ不思議が一杯。

さて、里山歩きも3年、市内各地域を踏査し、市のレットデータにも協力し又その目的を明確にする為に4月からプロジェクト名を「里山観察隊」に変更します。植物とホテルを中心に活動します。沢山のご協力有難うございました。又一緒に楽しみましょう。

植物観察会の予定はお知らせ欄にあります。（記 高野）

じゃがいも プロジェクト

じゃがいもを植えよう

会員10人、一般参加8人で200坪の畑に挑戦。種いもは約30キロ、北あかり、メイクイーン、男爵、アンデスレッドの4種類です。男性が70センチ間隔のうねを用意している間に種いもの準備をします。でている芽は全部取り除きます。ひよわな芽がでないようにするのです。種いもは4つほどに切り、切り口に灰をつけます。いもといもの間隔は30センチ、どんどん植え付けます。予定よりもうねの数が少ないのでちょっとあせる。メイクイーンからは少し小さく切ります。土は黒々、やわらかです。申し込みの人が少なく人手が足りないし、ソバの時の肥料がまだ十分残っているだろうと考えて、化成肥料は入れませんでした。炭屋の前では和田さんが火をおこしています。加藤（文）さんが石岡の蔵元のものという酒粕を用意してくれ、甘酒づくりの準備です。作業を終えて、甘酒をいただく。なんともうれしい時間でした。（記 横山）

雑木林畑隊 プロジェクト

春は足もとから

3月下旬、作業している畑に沿った通りぎわで芽吹いた「フキノトウ」に歩みを止めて見いてった人が数人ありました。つい先日までは固いつぼみでしたが、旬日にして花も見られそうです。

このフキは、森の利用者の視点を意図して栽培してきただけに、足を止める人が間最近にあると、ホッお肩が軽く成ります。目線では梅の花、足もとではフキノトウ。いよいよ、せわしい季節の始まりです。（記 小野寺）

「牛久沼から 牛久をみよう」

大変楽しく過ごさせていただきました。牛久沼がきれいになって来た事。しかしこれを守るにはどうしたら良いのか、色々考えさせられます。これから私達が何らか、かかわっていかねければならないのかと思います。牛久沼は全国で一ヶ所しかない所有権が幾人もの個人になっているため逆に乱開発されずに残されているそうです。しかも岸から見る風景とは全く違う風景でした。小高い山とそのすそのあしやまこもの原、木が生えてとてものどかな美しいものでした。大野さんのお話も大変興味深いものでした。（記 横山）

# 「自然かんさつ出前講座」 がスタート！！

目的：多くの市民の方に「自然と触れる体験」の機会を提供することで身近な自然環境への興味関心と環境保全への意識を高めていきたい。

概要：「要請出前講座」－市民から要請に応える自然かんさつ講座を出前  
「主催出前講座」－「うしく里山の会」が主催する自然かんさつ講座を出前  
\*平成18年度は、「要請出前講座」を中心に実施する。

かんさつ内容：<希望する内容を選び要請していただく>  
・身近な自然かんさつ（住宅街・里山・公園・学校・田んぼ・湿地・畑・野原・水辺など）  
・城址や古墳などの歴史遺産探検  
・ヘイケポタルのかんさつ（7～8月の夜間一城中・遠山・奥原など）  
・囁く虫のかんさつ（8～9月の夜間）

対象：牛久市及び周辺市町村の市民の方  
・一般市民のグループ（4,5人以上）  
・老人会・子供会など  
・保育園・幼稚園・小学校・中学校（PTAを含む）  
・自治体（生涯学習センター・公民館・区民館・福祉施設など）  
・その他（お気軽にご相談ください）

出前費用：無料

申込方法：電話にて申込み用紙を請求後、必要事項をご記入の上FAXにてお申込みください。お申込み完了後、詳しい内容について打合せいたします。

申込・問合せ先

牛久自然観察の森（担当：斉藤）

TEL：029-874-6600 FAX：029-874-6812

\*「うしく里山の会」の会員の皆様へのごお願い

このプロジェクトが成功するよう会員の皆さんの要請も含め、お住まいの地域の人々や団体等にも周知していただければうれしく思います。（担当：石神）

## 雑木林応援隊 プロジェクト

### 応援隊活動報告

3月12日 ムジナの里

昨年度の続きである竹垣づくりをおこなった。石塚指導員の提案により進捗を稼ぐために作り方を少し変更した。昨年の経験もあり一日ではあるがずいぶん進めることができた。しかしシュロ縄の結びは、頭の中にイボはできるが……。全体の3/5ほどの完成です、100%完成には3年がかりになりそうです。

その他、引き続き竹林の整備を行った会報が届くころには竹の子が顔を出しているかも、次回はとりたて竹の子の料理で昼食です。

3月26日 コジュケイの林

06年に入って大雪などで中止になり、今年初めてのコジュケイの林での作業、高木の伐採を行った。春になって伐採を行うと新芽（萌芽更新）が出ない、時期はギリギリではないかとのこと、奥に高木4本残っているが今年の秋以降の作業となる。

コジュケイの林が明るくなった、また寂しくなったとの声も聞く。切り株から若い若木が育ってきているので、それらが新しい林を作ってくれるでしょう。（記 飯田）

4月の予定はお知らせ欄にあります。

# 活動報告



各プロジェクト活動を紹介しています。より詳しくはホームページもしくは森の掲示板をごらんください。

## 巨木・古木・希少木調査ボランティア募集

市内自然遺産である貴重な巨木・古木を3年間に亘り調査・記録し、市民に提供する事業をH18年度（4月1日）から発足させます。「仲間と共に、楽しみながら和気あいあいと！」を活動の基本とし、植物・史跡にふれながら市内を歩き、健康の維持増進にも役立たせます。

調査は、牛久市の腕章をつけて、市内の対象木を調査します。

1. 計測調査
2. 写真地図
3. 伝書歴史の3グループにわけて行います。  
植物・カメラ・史跡いずれかに興味があり、前記項目を学んでみたい方、探求心・向上心のあるかたのご参加を歓迎します。

※牛久市との協働事業

申込：電話又は直接、下記へ  
問合せ：うしく里山の会 u\_satoyama@infoseek.jp,  
牛久自然観察の森 TEL 029-874-6600

締切：4月15日(水)まで

初顔合わせ会：平成18年4月23日（日）午前9時30分～12時、牛久中央生涯学習センター

主催：NPO法人 うしく里山の会

（巨木・古木リサーチ担当：渡辺、増田）

## こども星見隊 プロジェクト

### もりだくさん星見隊！

今回は昼間のイベントです。3/5に昼間の太陽と月を見て、ネイチャーゲームをやって、手作りプラネタリウムを行いました。かなり欲張りな企画ですね。

参加者は40名、いつもより小さなお子様が目立ちました。まず昼間の太陽ですが、残念なことに現在は黒点がないのです。したがって望遠鏡から投影された太陽は「ただの真っ白な丸」でした。これはこれで面白かった。次は、こども星見隊スタッフにネイチャーゲーム専門家が来たことから大規模に実施。いや～面白いですね！思わず私も参加してしまいました。次に手作りプラネタリウム。作成するのにかなり時間はかかりましたが、最後にレクチャー室を真っ暗にして全員で投影したときに、あまりのキレイさに「うわ～！」と声があがりました。

4月以降のこども星見隊は牛久自然観察の森の行事となります。さとやまの会としての最後の星見隊は大成功で終了することが出来ました。ありがとうございました。（記 中山）



# 4月の里山カレンダー

  = 観察の森林園日  
   = 休日  
 NC=ネイチャーセンター  
 P=駐車場  
 PS=パートナーシップ事業  
 (受)=受託事業  
 中央セ=中央学習センター  
 BC=ボランティアセンター

日	月	火	水	木	金	土
						1 森のレクチャー 10:00 NCa アヤメ(受) 9:00 アヤメ園P
2 巨樹古木リサーチ 9:30 森P	3 アヤメ(受) 9:00 アヤメ園P	4 会計事務 9:30 NC	5 雑木林応援隊(畑) 9:30(畑)	6 アヤメ(受) 9:00 アヤメ園P 巨樹古木リサーチ 8:00 森P	7 会計事務 9:15 NC	8 さとやまがきゅう 9:45 森P  雑木林応援隊 9:00 森P
9 雑木林応援隊 9:00 ムジナの里 巨樹古木リサーチ 9:30 森P	10 アヤメ(受) 9:00 アヤメ園P	11 会計事務 9:30 NC	12 雑木林応援隊(畑) 9:30(畑)	13 アヤメ(受) 9:00 アヤメ園P ありんくらぶ 12:00 NC	14 PSホテル 9:00 NC	15 里山観察隊 9:00 森P
16 運営会議 9:30 NC  理事会 13:00 NC	17 アヤメ(受) 9:00 アヤメ園P	18	19 雑木林応援隊(畑) 9:30(畑)	20 アヤメ(受) 9:00 アヤメ園P	21 PS里山聞き取り 9:30 NC	22
23 雑木林応援隊 9:00 NC  巨樹古木リサーチ 9:30中央セ	24 アヤメ(受) 9:00 アヤメ園P  会報原稿締切り	25 雑木林応援隊 9:00 NC	26 雑木林応援隊(畑) 9:30(畑)  会報編集 9:30丸山宅	27   会報発送 13:00 BC	28 雑木林応援隊 9:00 森P	29 アヤメ(受) 9:00 アヤメ園P  雑木林応援隊 9:00 森P
30	* 活動日、会報の編集発行は都合により変更になる場合があります。最新版はHPを参考にご覧下さい。					



## お知らせ



### ● 里山観察隊の18年度予定

- 1回、4月15日(土) 色々なスミレを見る。城中、得月院P9:00、歩きやすい服装、ルーペ、図鑑、水、等。
  - 2回、6月10日(土) 里山の草木の花をみる。結束 森P9:00~
  - 3回、9月9日(土) 絶滅の恐れのある湿地の植物を見る。上柏田、森P9:00
  - 4回、11月11日(土)、草木の果実をみる。城中、得月院、P9:00
  - 5回、植物の分け方の基本、2月10日(金) 森NC、9:00先着15名、一般参加資料代100、保険料代200、会員資料代100。各回だけでも申し込み可。
- 問い合わせ、申し込み、18:00~21:00. 029-873-6562

### ● 応援隊日程

- 4月 8日 竹炭作り  
4月 9日 応援隊次年度打合せ  
4月23日 竹垣整備、広場整備、竹林整備  
4月29~30日 一般参加炭焼き講座

### ● 巨木・古木リサーチ

初顔合わせ会：平成18年4月23日(日) 午前9時30分~12時、牛久市中央生涯学習センター  
主催：NPO法人 うしく里山の会  
問い合わせ 担当：渡辺、増田

### ● 第33回さとやまがきゅう

- 「春が来るネ!自然が動きだすぞ!五感で感じちゃ おー!!」  
学校のみんなは入学式に新学期。  
さとやまにも新しい生活がはじまるよ!  
みんなでさとやまに遊びに行こう!
- 1、期 日 2006年4月8日(土)
  - 2、活動場所 牛久自然観察の森、牛久市遠山地区
  - 3、活動内容 山菜・野草摘み、ネイチャーゲームなど
  - 4、持ち物 防寒着・手袋・雨具・敷き物・筆記用具  
・バンダナ・ビニール袋と新聞紙など
  - 5、集合場所 牛久自然観察の森駐車場9:45までに
  - 6、参加費用 お一人200円。但し、会員は無料  
別に資料代を頂く場合があります。
  - 7、募集定員 15名
  - 8、申し込み先 0297-66-4614 小倉  
029-872-8810 阿部(留守電・FAX)
  - 10、その他 必ず事前に申し込みをお願いします。  
小学生以下の参加は保護者もご一緒に!  
もちろん、大人だけの参加もOKです。

### ● じゃがいもプロジェクト予定

- 5月 6日(土) 芽かきを行います。 9:00(畑)